

歴史 の風

ふくおか 文化財だより

Vol.33 2021年6月

マンション13階！

～標高36mからの絶景！～

史跡からみる福岡

お城の中心部には
坂をのぼって向かいます。
標高が高くなっていくことが
わかります。

右写真
福岡城
本丸南側への入口



左写真
福岡城の本丸と天守台

福岡の中心部は平坦で山がないという印象が強いのですが、昔、福岡の街の近くに小高い山がありました。ではその山は今、どうなったのか？その答えは福岡城の中にあります。

福岡城はもともと小高い丘陵だった場所に築かれた城で、天守台から本丸、二の丸へと続く城の作りには昔の地形が生かされています。

～標高36mからの絶景！～ 史跡からみる福岡

当時のまちのなかで最も高い天守台からの眺めは福岡平野を一望でき、まさに絶景。天気の良い日には東の立花山や南の^{しおうじやま}四王寺山、西の^{かやさん}可也山まで遠望できます。

眺望が良いことは合戦のときに有利で、この場所が城を築くのに適した場所だったことが分かります。この福岡城を築いた黒田如水・長政親子の^{がんりき}眼力、まさに恐れ入ります。

福岡タワーからの眺めもいいのですが、ここはひとつ、如水が見渡したであろう景色を堪能しませんか。ここから眺める夜景もおススメです。



❏ 左写真
桜の季節
天守台から
北西方面の眺め

右写真 ❏
天守台からみえる
しずむ夕日



～子どもや留学生へ向けた福岡の歴史ガイド～

「福岡のお宝たんさく～福岡市文化財ガイド～」が完成しました！



「福岡のお宝たんさく～福岡市文化財ガイド～」

福岡に住む子どもたちや外国の人たちに、福岡市の歴史や文化の魅力をわかりやすく伝えようと、やさしい日本語を使ったガイドブックを作成しました。

弥生人の足跡！
自分の足と比べてどう？

元が日本に
攻めてきた！

山笠のはじまり
知ってるかな？



市内の小学5・6年生や外国人留学生にかかわる機関・団体等に、順次配布をはじめます。また、下記からも閲覧することができますので、ぜひご覧ください！

「福岡市の文化財」HP

<https://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/news/detail/298>

令和3年度企画展

「第二の発掘～自然科学×考古学＝新発見?！」

今年度の企画展では、埋蔵文化財センターが自然科学的^{まいぞう}手法を駆使して行う、出土品の修復作^{しゅうふく}業や分析調査をとりあげます。



展示の準備のようす



高さ11.4cm

イチ押しの展示品は、西区元岡古墳^{もとおか}

群G-6号墳から出土した青銅製馬鈴と、

その複製品^{ふくせいひん}（実物の型を取り樹脂を流し^{じゅし}

てつくったもの）・復元品^{ふくげんひん}（つくられた当時

の姿を再現したもの）です。この馬鈴は庚^{こう}

寅銘大刀とともに平成31年3月に重要文^{いんめいたち}

化財に指定されたため、貴重な実物資料は

大切に保存していかなばなりません。一方で、市の宝として

皆さんに公開してさらなる活用をはかるため、複製品と復元

品をつくりました。今後活躍する資料のお披露目です！ご注

目ください。

※複製品・復元品をつくる目的は、上記のように実物のかわりに公開・活用する以外にも、いくつかあります。展示で実物と対比させながら紹介していますので、ぜひご来館ください！（なお、ご来館前には、ホームページ等で開館の状況について必ずご確認ください。）



馬を飾る「馬鈴」
上：実物
中：複製品
下：復元品

発掘調査30周年 ^{さい い} 雀居遺跡

～空港の地下に眠っていた遺跡～



空港内の発掘調査のようす

福岡空港は、太平洋戦争末期に建設されて以来、戦後も米軍基地として使用されていました。そのため、空港敷地内は長く遺跡の空白地帯となっていました。

空港内に考古学的なメスが入ったのは、今からちょうど30年前です。国際線旅客ターミナルの整備にともない発掘調査が行われ、弥生時代から平安時代のムラや水田などが見つかったのです。

「雀居遺跡」と名付けられたこの遺跡からは、中国の貨幣「貨泉」や「トンボ玉」とよばれる文様のあるガラス玉、朝鮮半島南部から舶来したらしい「^{ばたく}馬鐸」など、海を越えた交流を示す品々も出土しました。現在の空港と同じように、博多湾岸にある雀居遺跡もまた、ほかの地域と交流していたことがわかったのです。



上写真：文様をつけたトンボ玉
下写真：部分拡大
弥生時代前期～古墳時代初頭



高さ約3.5cm
音が鳴るよ！

馬を飾る「馬鐸」
弥生時代終末期～古墳時代初頭

→ 6月・7月のイベント情報

6月

22日(火)～ 企画展

「第二の発掘－考古学×自然科学＝新発見?!」

期間： 令和3年6月22日～令和4年3月31日

場所： 福岡市埋蔵文化財センター

博多区井相田2-1-94 TEL 092-571-2921

休館： 月曜日 入館料： 無料

26日(土) 考古学講座 第2回

「土器^{あつこん}圧痕昆虫が語る縄文人のなりわいとくらし」

講師： 熊本大学 小畑^{ひろき} 弘己 氏

会場： 福岡市埋蔵文化財センター講座室

(博多区井相田2-1-94)

時間： 13時30分 ～ 15時（受付・開場13時から）

[予約方法] メールにてお申込みください。

受付期間： 6月1日(火)～6月14日(月)

※maibun-c.epb@city.fukuoka.lg.jp まで、

氏名・電話番号を記載の上、お申込みください。

※グループでの申し込みはできません。

※応募者多数の場合は抽選、結果はこちらから連絡いたします。

福岡市経済観光文化局文化財活用部

住所：福岡市中央区天神 1-8-1

TEL: 092-711-4666 FAX: 092-733-5537

文化財の保存・管理・活用に関すること

文化財活用課 TEL:092-711-4666

史跡の整備・活用に関すること

史跡整備活用課 TEL:092-711-4784

埋蔵文化財の発掘調査・手続きに関すること

埋蔵文化財課 TEL:092-711-4667

埋蔵文化財の収蔵・保管・分析に関すること

埋蔵文化財センター TEL:092-571-2921

ホームページ 福岡市の文化財

<https://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/>

Facebook「福岡市の文化財」でも情報発信

